授業科目名	教育実習事前事後指導 （Pre- and Post- Guidance for Teaching Practice）		
科目番号	97100（産業技術学部） 87100（保健科学部）	授業形態	講義・実技
単位数	1単位	履修年次	4年次
教員の免許状取得のための必修・選択	必修	受講対象	産業技術学部 保健科学部
担当教員（研究室）	渡部　杏菜 （障害者高等教育研究支援センター：天久保：メデイアセンター501） 嶋　俊樹 （障害者高等教育研究支援センター：春日：338） 佐藤　正幸 （障害者高等教育研究支援センター：天久保：メデイアセンター502） 長南　浩人 （障害者高等教育研究支援センター：天久保：メデイアセンター401）		
実務経験のある教員による授業科目	担当教員は高等学校や特別支援学校での勤務経験を有する。また、現職教員や卒業生の話を聞く機会を設ける。学校現場の現状や具体的な事例を挙げながら講義を行うことで、学生は教育実習の具体的なイメージを持つことができる。		
免許法施行規則に定める科目区分等	教育実践に関する科目		
	教育実習		
授業の到達目標	1. 教育実習に対する心構えや一日の流れを学び、実習生としての責任を自覚し、教育実習への見通しを持てるようになる。 2. 授業づくりのポイントや指導案の書き方、授業見学の方法を理解する。 3. 身につけた知識・技能を生かして、模擬授業の実施や参観をすることができる。 4. 教育実習の反省を生かして修正指導案を作成することができる。 5. 教育実習を振り返り、理想の教師としての在り方を考え、発表する。		
授業概要	教育実習は、大学での教職科目及び専門科目等で身に付けた教育に対する知見を、実際の教育現場で実証する意義ある機会である。授業実践のみならず生徒への影響の重大さを認識し、教育実習に対する基本的な心構えや技能を身に付け、実習後の反省と総括から、今後に向けての展望がもてるようにする。クラス編成と担当教員は原則として教育実習1・2と同じクラス分けとする。		
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修　事前配付資料を読み、疑問点をまとめる/模擬授業の準備をする（0.5H） 事後学修　講義内容についてわかったこと、考えたことをまとめる/模擬授業の振り返りをする（0.5H）		
授業計画	第1回：授業の目的および概要、教育実習の心構え、一日の流れ 第2回：学級経営について 第3回：学習指導案の書き方 第4回：授業参観について　記録の取り方 第5回：教育実習の実際①　現職教員による講演 第6回：教育実習の実際②　先輩の話を聞く会 第7回：模擬授業指導案検討 第8回：模擬授業1 第9回：模擬授業2 第10回：模擬授業3 第11回：模擬授業4 ～教育実習～ 第12回：実習報告会　実習の振り返りおよびディスカッション 第13回：教育実習授業実践の修正指導案の検討 第14回：教育実習授業実践の修正指導案の発表およびディスカッション 第15回：理想の教師像について考える 第16回：まとめ　教師の在り方とは		

テキスト	なし。資料を配付する。
参考書・参考資料等	授業中に適宜資料を配付する。
成績評価方法	模擬授業・修正指導案への取り組み 50%　小レポート：15% 授業への積極的参加状況(グループワーク・ディスカッション)：35%
成績評価基準	A+：到達目標を達成し、特に優秀な成績を修めている A：到達目標を達成し、優秀な成績を修めている B：到達目標を達成し、良好な成績を修めている C：到達目標を最低限達成している D：到達目標に達していない